



平成 21 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 大証金（大阪証券金融株式会社）
代 表 者 名 取締役社長 堀 田 隆 夫
（コード番号 8512 東証・大証 第一部）
問 合 せ 先 取締役企画総務部長 西 山 剛
（TEL. 06-6233-4510）

特別損益の発生、その他有価証券評価差額金の減少並びに
平成 21 年 3 月期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）において下記のとおり特別利益および特別損失を計上することに伴い、平成 20 年 10 月 30 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損益の発生

(1) 投資有価証券売却益および投資有価証券売却損

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、平成 21 年 3 月期第 3 四半期会計期間（平成 20 年 10 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）において、投資有価証券売却益および投資有価証券売却損を次のとおり計上いたします。

【内訳】

投資有価証券売却益 747 百万円

投資有価証券売却損 1,508 百万円

（注）平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）において、投資有価証券売却益 232 百万円を別途計上しております。

また、平成 21 年 3 月期第 3 四半期会計期間末日後においても、投資有価証券売却益および投資有価証券売却損が発生しております（平成 21 年 2 月 9 日現在）。なお、この間に発生した投資有価証券売却益および投資有価証券売却損につきましては、平成 21 年 3 月期期末決算において処理いたします。

【内訳】

投資有価証券売却益 486 百万円

投資有価証券売却損 12,326 百万円

(2) 投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく減少し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において、減損処理による投資有価証券評価損を次のとおり計上いたします。

平成 21 年 3 月期第 3 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期会計期間（平成 20 年 10 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	614 百万円	614 百万円
(イ)平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	614 百万円	614 百万円
(ロ)直前四半期（平成 21 年 3 月期第 2 四半期）累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	一百万円	一百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

○ 純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 20 年 3 月期末の純資産額	25,965 百万円	32,902 百万円
(A/B×100)	2.4%	1.9%
(イ/B×100)	2.4%	1.9%
(C) 最近 5 事業年度（平成 16 年 3 月期～平成 20 年 3 月期）の経常利益額の平均	870 百万円	1,457 百万円
(A/C×100)	70.6%	42.2%
(イ/C×100)	70.6%	42.2%
(D) 最近 5 事業年度（平成 16 年 3 月期～平成 20 年 3 月期）の当期純利益額の平均	820 百万円	679 百万円
(A/D×100)	74.9%	90.5%
(イ/D×100)	74.9%	90.5%

(3) 貸倒引当金繰入額

昨年来の株価の下落によりビジネスローンをはじめとする証券担保ローンの担保有価証券評価額が大幅に下落したこと等に伴い、平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間において、貸倒引当金繰入額 2,255 百万円を特別損失に計上いたします。

2. その他有価証券評価差額金の減少

平成 21 年 3 月期第 3 四半期会計期間末における「その他有価証券評価差額金」の減少額が前期(平成 20 年 3 月期)末における純資産額の 30%を上回ることとなりました。

	単体	連結
(A) 平成 20 年 3 月期末のその他有価証券評価差額金の額	973 百万円	1,059 百万円
(B) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末のその他有価証券評価差額金の額	△9,346 百万円	△9,325 百万円
(C) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期のその他有価証券評価差額金の減少額(A-B)	10,319 百万円	10,384 百万円
(D) 平成 20 年 3 月期末の純資産の額(C/D×100)	25,965 百万円 (39.7%)	32,902 百万円 (31.6%)

3. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

① 連結業績予想

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	450	750	150	4 20
今回修正予想(B)	7,500	500	1,200	△12,000	△336 71
増減額(B-A)	△300	50	450	△12,150	—
増減率(%)	△3.8	11.1	60.0	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	7,460	591	945	648	17 66

② 個別業績予想

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,600	350	600	50	1 36
今回修正予想(B)	7,400	400	1,000	△11,000	△300 20
増減額(B-A)	△200	50	400	△11,050	—
増減率(%)	△2.6	14.3	66.7	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	7,266	469	661	412	10 95

(2) 業績予想修正の理由

① 個別業績予想

経常利益の修正は、リーマン・ブラザーズ証券株式会社との株券レポ取引の清算に伴い、受取配当金が増加したこと等によるものです。また、当期純利益の修正は、上記取引清算に伴い、投資有価証券売却損および投資有価証券評価損が発生し、また、証券担保ローンにおける貸倒引当金繰入額が増加したため、これらを特別損失に計上すること等によるものです。リーマン・ブラザーズ証券株式会社との取引清算の詳細とその影響等につきましては、本日公表の「リーマン・ブラザーズ証券との取引清算と当社業績に与える影響等および経営改善のための諸施策に関するお知らせ」をご参照ください。

② 連結業績予想

連結業績予想の修正は、上記個別業績予想の修正に伴うものであります。

4. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

本日開催の取締役会におきまして、平成21年3月期の1株当たり配当予想について、次のとおり修正することを決議いたしました。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末 (中間期末)	期末	年間
前回予想 (平成20年10月30日発表)	円 銭 0 00	円 銭 6 00	円 銭 6 00
当期実績	0 00		
今回修正予想		3 00	3 00
前期(平成20年3月期)実績	3 00	3 00	6 00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主への安定的な利益還元を基本方針としており、具体的には1株当たり年6円配当を堅持し、好業績時には増配することとしております。

平成20年10月30日の配当予想発表時点では、上記方針に基づき期末配当については、期末時点の状況を確認した上で、中間配当相当額(3円)を上積みし、1株当たり6円を配当することを予定しておりました。しかしながら、平成21年3月期第3四半期の業績および通期業績予想の状況に鑑み、誠に遺憾ながら期末配当は1株当たり3円と減配させていただく予定であります。株主の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、1株当たり年6円配当の実施に向けて、早期に業績を立て直すことで経営責任を果たして参りたいと存じます。

5. 今後の方針

今回の業績予想および配当予想の修正を真摯に受け止め、早期に業績を立て直すべく、財務基盤の強化や経費削減をはじめとする経営改善のための諸施策を実施してまいります。詳細につきましては、本日公表の「リーマン・ブラザーズ証券との取引清算と当社業績に与える影響等および経営改善のための諸施策に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上